

ALPS 処理水海域モニタリング測定結果
海水調査（トリチウム及びガンマ線核種（速報））（2024 年 10 月 7～8 日分）

1. 調査概要

(1) 調査期間

2024 年 10 月 7 日～8 日

(2) 調査地点

トリチウム：福島県沿岸の 15 測点

※ 基本的に表層の試料を採取し、最も放水口に近い測点（E-S10）については表層に加えて底層の試料を採取している。

ガンマ線核種：福島県沿岸の 3 測点

(3) 調査内容

- ・ 海水の放射性物質濃度（トリチウム及びガンマ線核種（速報））の測定

トリチウム：検出下限目標値※を 10 Bq/L として実施。

ガンマ線核種：セシウム 137 の検出下限目標値が 1 Bq/L となる条件で、幅広くガンマ線核種を測定。

※1 検出下限目標値とは、分析を行う際に、少なくともその値までは確実に検出できるよう精度管理上設定する値のことをいう。実際の検出下限値は、試料毎に異なり、それぞれ検出下限目標値と同等又は下回ることとなる。

※2 ガンマ線核種とは、ガンマ線を放出する放射性同位元素のことをいい、例としてセシウム 137、セシウム 134、コバルト 60、ルテニウム 106、アンチモン 125 等がある。ガンマ線は電磁波の一種であり、試料のスペクトル（波長の成分）を測定することで幅広い核種を検出することが可能な分析を実施している。

2. 結果概要

(1) 海水調査（トリチウム：15 測点（16 試料））

海水のトリチウムは、検出下限値未満～20 Bq/L の範囲であった。

(2) 海水調査（ガンマ線核種：3 測点（3 試料））

海水のガンマ線核種は、全て検出下限値未満であった。

（詳細別紙）

（地図別添）

＜問い合わせ先＞

環境省水・大気環境局海洋環境課

直 通：03-5521-8306

代 表：03-3581-3351

海水中のトリチウム分析結果

測点	採取日	採取層	採取深度 (m)	核種	放射能濃度 ^{※1,※2}	単位
E-S1	2024/10/08	表層	1.5	H-3	< 9	Bq/L
E-S3	2024/10/07	表層	1.5	H-3	< 8	Bq/L
E-S4	2024/10/08	表層	1.5	H-3	< 8	Bq/L
E-S5	2024/10/08	表層	1.5	H-3	< 9	Bq/L
E-S10	2024/10/07	表層	1.5	H-3	< 8	Bq/L
E-S10	2024/10/07	底層	12.7	H-3	< 9	Bq/L
E-S13	2024/10/08	表層	1.5	H-3	20 ± 3.0	Bq/L
E-S14	2024/10/08	表層	1.5	H-3	< 9	Bq/L
E-S15	2024/10/07	表層	1.5	H-3	< 8	Bq/L
E-S16	2024/10/07	表層	1.5	H-3	< 8	Bq/L
E-S19	2024/10/07	表層	1.5	H-3	< 8	Bq/L
E-S20	2024/10/08	表層	1.5	H-3	< 9	Bq/L
E-S22	2024/10/08	表層	1.5	H-3	< 8	Bq/L
E-S27	2024/10/07	表層	1.5	H-3	< 9	Bq/L
E-S29	2024/10/07	表層	1.5	H-3	< 8	Bq/L
E-S34	2024/10/07	表層	1.5	H-3	< 8	Bq/L

※1 放射能濃度の表記は、「放射能濃度±合成標準不確かさ」である。

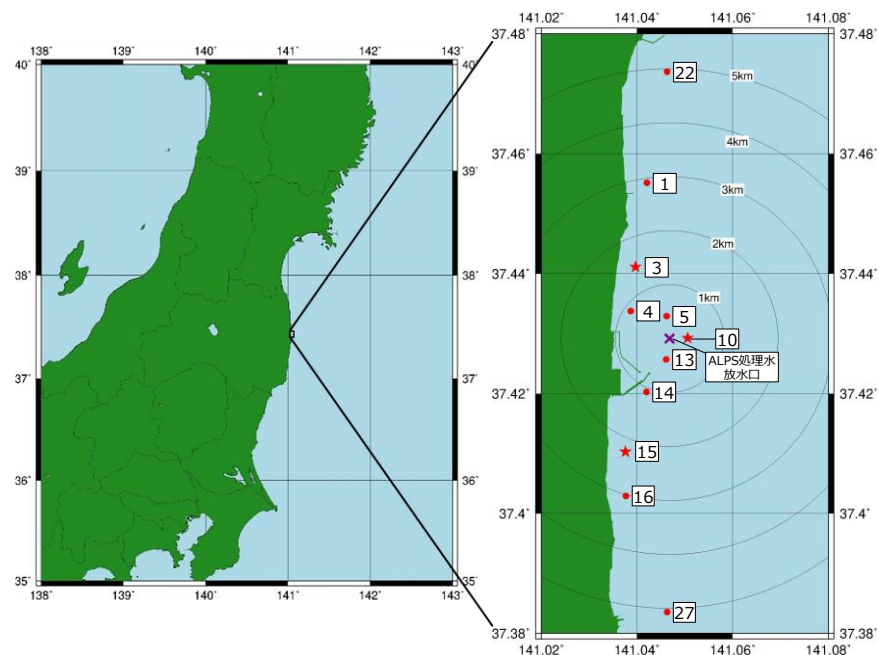
※2 検出下限値未満の場合は検出下限値を示した（例：「< 10 Bq/L」と表記している場合、10 Bq/L 未満であることを示す）。

海水中のガンマ線核種分析結果

測点	採取日	採取層	採取深度 (m)	核種	結果
E-S3	2024/10/07	表層	1.5	ガンマ線核種	全て検出下限値未満であった。
E-S10	2024/10/07	表層	1.5	ガンマ線核種	全て検出下限値未満であった。
E-S15	2024/10/07	表層	1.5	ガンマ線核種	全て検出下限値未満であった。

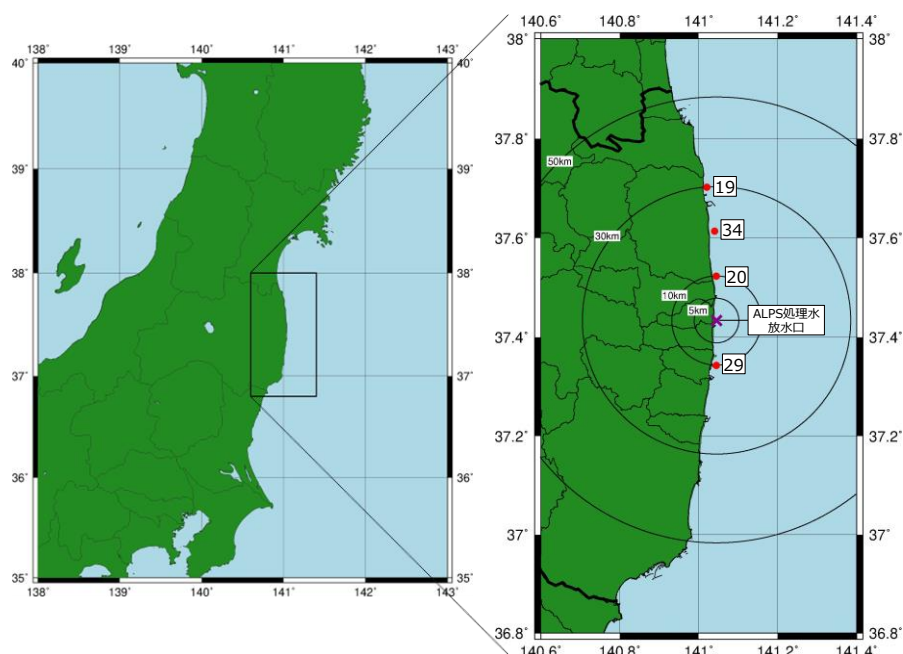
※ セシウム 137 の検出下限目標値が 1 Bq/L となる条件で、他の核種についても検出下限値を設定。

(別添)



※地図中の番号は当該回の調査地点を示し、「E-S」を省略して表記（例 E-S1→1）

図 1 ALPS 処理水放水口から 5 km 圏内の測点



※地図中の番号は当該回の調査地点を示し、「E-S」を省略して表記（例 E-S19→19）

図 2 ALPS 処理水放水口から 5 km 圏外の測点